



田沢コミュニティ振興会 会報
第46号 令和5年4月15日

楽しんでますね

ん・ん・ん・ん・ん

● 南平田小学校 新1年生 入学おめでとう

た。業す月流数夏 流を学に織未青
。もがか事日期令す開生参を来壯
。行大ら業コ休和る放の画立ミ年
。賑の月行セと年業てみして上デ
。わコ一うン冬度を地期もげイ
。いミ回とを期は、つのにっコ
。をセでも放暇小て人コミと
。見開ありにし中学位いともミ
。せ開あり、てに校まもセ、事
。ま放り、てに校まもセ、事
。し事ま一交復のす。交ン小業



後半五年間に向けた課題も

このように各部会とも地域課題の解決に向けた活動の成果が顕著な化を遂げ、一定の成果が認められ、新たな課題も生まれてきます。



組織体制のさらなる強化

進少高齢化、人口減少が顕著な傾向にある中、地域課題の解決に向けた取り組みが急務である。組織体制の強化を図る必要がある。



旧田沢小学校校舎の早期のミセン化

令和三年度末で閉校となる旧田沢小学校校舎の早期のミセン化を図る。地域の活性化に貢献する。



やまもと農村交流センターの管理

旧酒田市との合併により、地域交流センターの管理業務が拡大している。適切な管理体制の構築が求められる。



後半五年間に向けて

田沢コミ振では、この機会に、各委員の業務を再点検し、今後の活動の活性化を図る。地域住民の参加を促す。



～ 集落支援員 斉藤 志保子さん ～

六年間、様々な課題に取り組んでまいりました。心に残る思い出を振り返り、今後の活動に活かしたいと思います。

田沢地域づくり活性化プラン後期5年行動計画と実施計画について

平成三十一年から実施されてきたプランの五年間の経過を踏まえ、令和六年度からの後期五年間の活性化プランを策定しました。

令和五年四月の調査では、管内八自治会の内、五自治会が高齢化率五十%以上の限界集落に達している状況にあります。また、大雨や大地震による災害が発生した場合に、五自治会が孤立集落となる可能性が指摘されています。地域の現状に沿ったきめ細やかな対策、振興策が求められています。

後半五年間に向けた課題と取り組みの方向

田沢地区の課題として、高齢化、過疎化、地域共同活動の困難、農業者人口の減少、伝統文化継承の衰退、などが挙げられています。

これに対応するため、災害対策と防災活動、福祉関連事業、地域振興と特産品開発、観光スポットの活用、子供たちの育成支援などの取り組みが重要になっていきます。以下はその要点です。

した防災訓練の実施を行います。

②自ら参加したくなる地域づくり(当事者意識の醸成)...

田沢を応援する応援団やファンを増やすため、地元のリソースを活用した事業や地域活動を継続的に会報やSNS等で発信します。住民とコミ振の協力により、持続可能な地域づくりを目指します。

環境部会は、住みごこちのよい里山づくりを目指していきます。

①安全・安心な地域づくり...有害鳥獣や害虫から地域住民を守るため、防災活動を強化します。交通安全や防犯活動にも取り組み、関係団体と連携して実施します。

②自然とのふれあいづくりと自然環境の整備...田沢の貴重な自然を活用し、里山の暮らしを楽しむために、登山道自然観光の整備を行います。

福祉部会は、安心していきいきと暮らせる地域づくりを目指しています。

①地域で暮らし続けられる生

生支援...高齢者や障がい者の日常生活を支援し、住み慣れた地域で暮らせるようにします。企業と連携した買い物支援や田沢おたすけ隊による除雪やゴミ出しの支援を行います。

②住民の生きがいと健康づくり...地域サロン活動や介護予防活動を充実させ、健康寿命を維持できるよう取り組みます。食育の推進を通じてバランスのとれた食事を学び、生活習慣病の予防に努めます。

農生部会は、地域資源と交流を活かして住民相互の潤いづくりを目指しています。

①地域資源を活用した特産物の生産販売と新たな特産物の開発...山間部の自然や気候、清らかな冷水を活かし、農林水産物の生産・販売と新たな特産品開発に取り組みます。そば製粉所の開設や加工所の設置による農林水産物の加工食品の開発、もくずガニなどの加工品開発を行います。

②交流を生かした特産物の生産販売と新たな特産品の開発...地域外からの人と情報を

活用し、新たな地域農産物の開発と販路を拡大します。自然体験やインバウンド受け入れ等の里山観光プログラムを通じて地域特産物の活用活動を行い、観光資源を活用した販売促進を推進します。



令和5年4月～令和6年3月
コミ振事務局長 後藤 拓

も推進します。

③地域の教育力向上...小中学生と地域住民との交流を通じて、次代の地域づくりを担う人材を育成します。

小学校振替日のコミセン開放や教育力向上事業を実施し、若者による事業の企画・実施も促進します。

事業の実施に多くの人に参加していただき、地域の資源を活用した新たなアイデアや取り組みが生まれることを期待しています。

教育部会は、明るく元気に地域を引き継ぐ人づくりを目指しています。

①住民のつながりの強化...地域住民の交流の場を作り、顔の見える関係を強化します。スポーツフェスタや文化祭などのイベントを通じて交流を促進します。

②生涯学習・生涯スポーツの充実...知識と経験を得る場を提供し、心豊かな人生を送るために趣味の楽校や大人のコミセン開放をします。体を元気に保つためのスポーツ活動を



▲台湾長億高校竹細工体験



▲モニターツアー 人形絵付け



▲竹伐採体験

田沢の魅力と可能性

12月と1月に旧阿部家で台湾からの観光客を受け入れましたが、ご尽力をいただいた酒田DMOの小林さんから、地域資源を活用した交流による地域振興についてご提言をいただきました。

一般財団法人酒田DMO
事業推進グループ
小林 和也 さん



皆さんはDMOという言葉を知っていますか？

DMOを日本語に訳すと「観光地域づくり法人」と書きます。酒田DMOは令和四年五月に法人登記したばかりの新しい組織ですが、誕生以来、酒田の魅力を発信し酒田のファンを増やすための取組みを進めてきました。

特に田沢地区は、三百年以上の歴史を持ち市の文化財に指定される「旧阿部家」、古来より人々の信仰を集める「胎蔵山」、最上地域から田沢川ダムへとつづく与蔵峠、など磨き上げられた素材とそれを守る魅力的な人材に恵まれています。これら地域の魅力をより一層磨き上げ、観光客に選んでいただける「旅行商品」として活用するために、地域の皆さんに最初にお願したのが「モニターツアー」の受け入れでした。

モニターツアーとは通常の観光商品として販売する前のテストツアーのことで、参加者の意見を反映させることで、より魅力的なツアーを作り上げる仕組みの事です。令和三年十二月に旧阿部家を舞台にした「竹細工作り」「炉端焼き」「人形絵付け」では、参加者の入れ替えや体験メニューに掛かる時間調整に苦労しましたが、回数を重ねることで皆さんが創意工夫し、新しいメニューやアイデアがたくさん生まれました。

同時に行ったのが、国内外へのプロモーション活動です。モニターツアーの様子を撮影し、季節ごとにどんな楽しい体験が出来るのかを動画として紹介する準備を進めました。令和四年度に入り、外国人旅行者の来日が回復するタイミングで向かったのが「台湾」です。現在でも山形県を訪問する外国人旅行者の多くは台湾からのお客様です。私たちは首都であり台北ではなく、まだ日本への旅行者の少ない台中をターゲットに旅行業組合や教育旅行の行先に日本へ関心のある中学・高校への誘致活動を行いました。

その結果、令和五年十二月に台中市立長億高級中学校二十六名、令和六年一月に台中市立鳥日国民中学二十二名の生徒と教

員たちが田沢地区を訪れ、言葉や文化の壁を越えた交流を実現することが出来ました。参加した生徒や教員のアンケートでは、田沢地区の皆さんの温かい歓迎と日本文化の体験に高い評価をいただき、確実に今後の台湾からの教育旅行の受け入れに繋がる成果となりました。

しかし、観光地域づくり法人であるDMOの目的は「お客様を呼ぶこと」だけではありません。全国的に高齢化・過疎化の進む地域にとって「観光地域づくり」とは、観光客の受け入れに対する「適正な対価」を頂戴し、地域の魅力を守る「人材を育てる」、観光客が「地域の課題と一緒に解決する」仕組みを作るのだと考えるからです。走り始めたばかりの酒田DMOには地域の皆さんのサポートが必要です。もっとたくさん田沢地域の魅力を発見し、守りながら次の世代に伝えるため、今後ともご支援をいただけますよう、宜しくお願いいたします。

※文中には酒田DMOの前身である酒田観光戦略推進協議会の活動も含まれております。



2月10日(土)

てんこ盛りの文化祭



今年是一日にまとめて文化祭を開催しました。天候にも恵まれた雪のない雪中わなげや、中野目のふみおちゃんコンサート、劇団このはの民話演劇・紙芝居・手品、作品展示など盛りだくさんの催事で会場がにぎわいました。



ふみおちゃんコンサート



雪のない雪中わなげ



劇団このはの民話演劇





あけびつる編み伝承者
石黒 きょう さん (楯山)

今から二十年以上前になりますが、私たちの姑さん世代が三・四ひと集まって、山のから採ってきたあけびのつるを使ってかごなどを作り販売もしていました。地元の集会所を「木通庵」としたのも、あけびつる編みの伝承館という意味があったのです。

五〜六年前までは、冬期間の暇なとき三・四人が木通庵に集まり、鍋敷きや花かごなどの簡単なものを作っていました。その後亡くなられた人や介護する人が出たりと、今では私一人となってしまいました。

令和五年度に入り、やまもと農村交流センターでつる細工講習会をすることとなり講師をお願いされまし

たが、教えるほどの技量もないので、一緒に作る程度で参加させてもらっています。その中でバス研修にも参加させていただき、つる細工工房で講習を受けたり製品を見て歩いたり楽しかったです。

安い物があふれているこの時代、昔からのつる細工の技を守り伝えていくことは難しいと思っています。受け継いでくれる人、やる気のある人が出てきてくれたら本当にうれしいことです。

みんな、おべっだか〜 おらほの ^{びと}かがやき人 ^{びと}がんばり人

一生懸命ひたむきに地域と関わり活躍している人をご紹介します。

私は元田沢消防団で班長をさせていただいております。消防団の仕事の中で火災時の消火活動が一番大事ですが、田沢地区においては何年間にも渡り火災が発生しておらず、地域住民の方々の防災意識の高さに感謝いたします。少子高齢化の影響で消防団員の成り手が少なく、地域の方々は色々な場面で不安になることもあるかと思えます。そんな中でこれから一番大切な事は、集落の垣根を越えて田沢地区が一丸となり防災活動に取り組んでいくことが重要だと思います。私達も他地区の消防団と連絡を取りながら、情報を共有し防災活動をこれまで以上に頑張りたいと思います。

また私は、袖浦農協の営農販売部に勤めており、主に野菜や果物の販売をしています。田沢地区の農業は稲作中心の方がほとんどだと思いますが、園芸作物を複合で取り組んでみてはいかがでしょうか。地域の特徴として同じ酒田市の他地区より寒暖差があり夏場は涼しいと思います。作物のたとえを挙げると、九月頃から出荷されるミニトマトは夏場の暑さで全国的に出荷量が不足する為、市場では高値で取引されますし、直売所などでも良く売れます。生産コスト面でのハードルもありますが、地域の特徴を生かした農業で百笑していただきたいと思います。



酒田市消防団元田沢班長
庄子 知之さん (元田沢)

酒田ユニサイクル ケセラ



12月と3月に一輪車演技の大会が行われ、各大会で優秀な成績を収められました。

岩手県大会	ペアの部	総合優勝
東北大会	ソロの部	総合優勝
	グループの部	総合優勝・特別賞
全日本一輪車競技大会		
	舞台演技部門	審査員特別賞

※総合優勝・・・各カテゴリーで一番優秀だった演目に与えられるもの

総合優勝!! おめでとうござります。

田沢コミ振 フォトダイアリー

1/28 盆栽づくり教室



今回は花や実の成る木を植えました。初めての参加者もいましたが、講師が楽しい方で、盆栽より先に、会話に花が咲きました。

1/18,2/13,3/7 大人のコミセン開放



一月から始めた、大人のコミセン開放事業。お茶を飲んだり、趣味をしたり。皆さんもいつぶくいかげですか。

2/16 ふれあい給食



栄養バランスも考えられた献立に、食べやすくて美味しく好評のお弁当。作り手も張り切っています。

2/11 旧阿部家小正月



阿部家の小正月が開催され、参加した子供たちは餅つきやせんべい釣りに大はしゃぎしました。

新旧役員紹介



久松会長お疲れ様でした。会長が築き上げた財産で皆で頑張ってきたいな花を咲かせたいと思います。
新会長 後藤 拡

久松会長今までご苦勞様です。新しい後藤会長また、石黒事務局長共々頑張ります。
コミ振副会長 越坂 広也

この度、事務局長に就く事になりました。皆様方のお力添えよろしくお願ひいたします。
新事務局長 石黒 真

活性化プランを実現すべく、地域力向上と地域の融和に腐心した五年間でした。ご協力に感謝申し上げます。
前会長 久松 勝郎

あとがき

皆さんは『春夏秋冬』の中で一番好きな季節っていつですか？
私はやっぱり「春」ですね。今年の冬は雪が少なく地面が表れていました。最近、黄緑色のフキノトウがポツポツと見えてきて、一面茶色だった風景が少しずつ色づいて変わっていくのを見ると、なんだか嬉しくなります。南の方では桜の開花が報道されるようになりましたね。いよいよ春作業が始まる頃です。忙しくなる前に、皆さんも春を感じてみてくださいね。 長堀